

栄八通信

武雄市議会だより (Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第66号



宮本 栄八
武雄市議会議員
TEL: FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

H28年10月発行
147

武雄競輪場 新スタンド完成

10月15日より
コンパクト化
デジタル化
ナイター化
17億円

武雄競輪場(オッズパーク武雄)が10月15日よりリニューアルオープンする。当日は、千葉67周年記念(GIII)の場外販売がされる。

実際に、バンクでレースのある本場開催は、10月29・30・31の3日で、目玉として、ガールズ競輪を予定している。この様に近年の競輪場は、本場開催が月3日の12ヶ月36日程度で、他場レースの場外発売が300日以上で、客の利用実体は、場外購入が大半なので、それを観戦する中継モニターテレビの見やすさは、一番大切な要素。

ただ、これまでは、アナログでテレビも古い物を使い続けていて、8番車バンクと9番車の紫が判別しにくいし、画面の縦横の縮尺も変った。これをデジタル化する為の改修と、客の車券購入が、ネットや電話投票が多くなり、競輪場に来る客自体が少なくなっている。施設をコンパクトにして、管理費用を抑えようとの前向きな改修。

また、利益の大半は、年1回の開設記念レースを、全国競輪場で販売してもらった分の利益なので今回のメイン棟改修をしたからと言って利益が極端に増大したとは考えにくい。攻撃というより、長く続ける為の守備固めの投資。それでも収益増が期待できるのが、改修で、照明が変わること、屋だけでなく夜も販売できる様に、ナイター競輪の場外発売で、夜のW営業が可能になり、売

場当りの販売額のアップは見込める。

一方、今回の改修の資金的状況は、メイン棟関係15億円とバンク改修2億円の合計17億円を投資。一方、基金が、H26年度の未12億円あり、7億円を使い、5億円を基金に残し、この10億円を水道会計等から借り入れて改修費に当てるとかと思われる。また合併後の各年の収支は、少し赤字だったので、自転車振興会に納付した1億円が戻って来て、黒字に近づいたというラッキーな状況。また最近黒字に減らされて、単年度、1億程度の赤字へ。

だから、このまま行けば、改修の借入れ金は、10年で返せる計算。ただ、近年、ポータルレースの場外などが広がりライバルの増加と現在の競輪客は高齢者が比較的多い状況や、近年の記念レースの売上げが80億円台から60億円台に減少している。そこで、競輪会計を減らした、大規模の公園整備やB・M・X場の建設には私は疑問を持っている。ある程度、収支の目安や、また手を付けていない、特別座席や選手宿舎の改修計画を含めての判断が必要かと思う。

(追伸情報)オッズパーク武雄と言っている、ネーミングライツと違って、武雄競輪場の名称権を買ったのが、オッズパーク社。どういう会社かと言うと、インターネットで、競馬や競輪などを販売する会社で、命名権料は金で

武雄市の看板政策 見なおし必要

案内と 景観の両立



まぢ交看板

競輪場メイン棟 特観席棟

武雄市は、前市長の時、カーナビや、携帯などで場所をはかるので、看板は景観に良くないとして、市の観光・競輪公共看板を次々に廃止撤去していた。

そして、県の管理していた、屋外広告物の権限を市に委譲を受けて、独自の規制をするとして、注目をあびていた。

しかし、県の条例の準用で独自規制もなく、市が屋外広告物の料金の少額を、多くの入件費を使っている意味のない状況が続く。

一方、前市長は、看板撤去を言いながら、山内町の陶芸村の木製看板は良いとして、それを市も広げるとの話だったが、今、進まず。また一方、区画整理に伴う、「まち交」と言われる補助金のサイン(看板)計画の、2000万円、付いては返納せず、桜山や温泉街整備に付いては5000万円、返納する状況。市の方針と行動は返らばらばらの状況。

最近、区画整理地区に、緑色、その後、後門型の看板が数多く立ったのは、先の2000万円を

補正予算反対した理由 「温泉どおりの一般道化」



嬉野の観光道
塩田の観光道
温泉どおり

私をそう感じていたし、住民の方からも言われたので、市に路面清掃の要望を2年くらい前に伝えたが、「現地を見て対応する」との返答。しかし、目に見えて、はずれた小ジャリなどの除去が完了せず。今年度、再度、早い対応を抗議。そんな中、いよいよ、温泉どおりの改修をする様になったと思つて、整備内容を聞くこと、現在のカラー舗装を止め、黒の一般道の舗装にする話でびっくり。

温泉どおりは、武雄温泉や、長崎街道本陣に隣接する道路で、20年前には、当時、県道として、中

利用したが良くないか? 旧クリーンセンター跡地



現在のクリーンセンター

昨年まで、ゴミ処理をしていた朝日町のクリーンセンター跡地だが、建物の解体は、今年度中に解体の方法などを計画し、H29以降に解体される模様。

一方、約2万3千㎡と広い、焼却灰埋立地は、閉鎖当時は、まだ容量は満杯でなく、池の様な状況で、その利用を考えるのももう少し先の話と思つてきた。

ただ、新幹線のトンネル残土を入れる合意ができて、急に平坦地の完成が見透せる様になって来た。

これまで、地元吉原議員が数度、その活用について議会の一般質問を出されていたが、「柵藤広域圏の事なので」と門前私的な状況、今の武雄市が、「この跡地の活用を要望を柵藤広域圏に対して行なうか?」との市の方針を尋ねると市は、利活用の要望は行なわ

ないとの答弁に、びっくりとがっかりした。

新しい伊万里市の松浦のセンターは、地元に対して、多額の対策費用を用意して、施設受け入れに対しての地元還元をしている。

一方、クリーンセンター整備に数億円かかる所が、新幹線残土での埋めどしを武雄市が調整した事で、柵藤広域圏は支出が大幅に削減されているので、市も用地の活用を要望し、市や地元朝日町の為に役立つようにすべきと思う。

私の考えとしては、嬉野のみゆきドームの様な、屋根付きグラウンドゴルフ場として観光拠点ともなり、なにより、埋立地への雨水浸透量が減少し、安全性も向上する。

東部開発の状況 二トリなど立地間近に

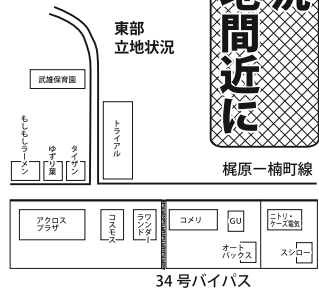
私は、前市長が、消極的であった。東部開発について、小松市長になったので、改めて行政が土地所有者と、開発業者の間に入って課題整理したり、また公共の水路や道路の付け替えを行い、企業の立地促進をすすべて提案していた。

その時の市の答弁は、市はかかわらず、民間主導との事で、開発への期待は、あまり持てなかった。

しかし、メモリ、GUオートバックスも進出し、さらに、東側の田を埋めて、二トリ・ケーズ電器・スシローなどが立地する。

これらの、立地が進んだのは、田の中央に東西にあった、市道と水路を廃止して、国道のバイパスと市道(梶原・楠町線)の間の用地が「面化して利用しやすくなった」という。結局は、立地話があつてから、大あわてで、行政が対応協力している形になっている。

結果としては、行政も後追い支援をしていて、私としては評価はしていない。ただ、残念なのは、東部エリアとして、下水道管を急ぐため、国の区域認可を取る時間がない、本来事業費の50%は国の補助があるが、全額市費でせざるを得ないのが残念で、やはり私が言うように、東部開発を計画的に進める方が現在の外部の業者だけの立地、進出も可能になるのではないかと。一方、市に元々開発計画はあり、年数もたつていて見なおす、と明言しているが、まだ、その案は小さくない。



杵東衛生処理場の改築と 武雄市の下水道との深い関係

旧北方町のし尿や浄化槽の汚泥等は、白石町・大町町・江北町で共同処理する杵東処理場を利用。施設は、老朽化して、H34年に現地、大町町に建て替え予定。ただ、その時には、武雄市は脱退して、武雄の衛生センターで処理し、負担金の年500万円を削減する予定で、私も提案者の一人として早期の実現を望む。

今回、予定のH34年の1年伸び、H35年になるとの報告で、何か問題が発生したか心配し調査。すると、現在、武雄市の衛生センターで、行っている形で、一次処理し、公共下水道に放流する方式が費用が安く、白石町や江北町の公共下水道処理場に作つたが、良いのかの検討のための1年延期。私は、逆に移転新築が工期が早いのではないかと。と思う。

一方、武雄市は、早く脱退して5000万円の負担を減したいが、それには、武雄衛生処理センターの処理日量1000m³から、旧北方町の20m³を受け入れられる様にし尿汲み取りから公共下水道への加入を進めなければならぬ。

現在、公共下水道の配管布設工事が本格的に進められていて、宅地に設置した公共マスは715基あるが、実際の接続使用は、約3分の1の242件しかなく、公共下水道事業自体の経営も再点検する必要も。ちよと、来年H29年度から、下水道事業も、水道とあわせて企業会計が導入される。たぶん、大赤字が明確になり、水道事業の様に、利用者負担が、工業用水事業の様に一般会計から繰り入れるかの判断が求められるものと考え。

庁舎跡地利用と 駐車場物語「ゲタぬぎ場」

今議会、一般質問で、現庁舎跡地や、まちなか広場の活用への市の考えを問う質問が複数あつた。

現庁舎の方は未定で、まちなか広場整備は計画がないとの答弁。現庁舎後については、駐車場スペースがなくなれば、市街地の飲食店に急激な影響があるのではどうかの形で駐車場の確保は必要との考えは、多くの議員が持っている。

一方、現在武雄市は、市役所東側に職員駐車場を、約107台を確保。それは足りず、駅南の民間駐車場に125台を1台月3000円で、借りている。現庁舎跡地を駐車場化して、その負担を削減するとの考えの他議員の意見には賛同できる。

他方、現在では、あたり前の様に代行運転が発着する市役所や銀行などの休日・夜間の駐車場も開放だが、昔からではない。商業活性化の中で、駐車場確保の苦肉の作で、最初は、駐車場がなくても、客の来店する店づくりが目標だつた。



まちなか広場
このままでは税金のムダ

現市役所

ふるさと納税 武雄市民が得策

私が、以前の議会で武雄市民に、武雄市にふるさと納税を推進すれば、市民にとつても、市内商店にとつても得策なので、市民のセミナーなども開催してはと提案していたが、市は「しない」の返答。

ただ、今回他議員の同様の質問に、具体的な数字を表で示した。それは、市と市民の損得計算だが、それに私が言っていた、市内商店など業者の売上げも入れて表を作り直したものが、下の表。

やはり、武雄市民が、武雄市にふるさと納税したが一番の得策。ただ、被災地や各地の産物など他市にしたい方もおられると思う。そこで、私の提案として、市を△にしない為に、他市に1回し1800円プラスになるのを参考にして、ふるさと納税(特定寄付金)

武雄市民が、1万円のふるさと納税をした時の利益

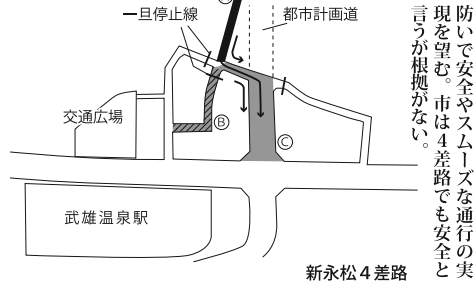
(納税)	他市町に	武雄市に	何もしない
市民	+ 3,000円	+ 3,000円	0円
市	△ 1,600円	+ 3,400円	0円
商店(売上)	0円	+ 5,000円	0円
トータル	+ 1,400円	+ 11,400円	0円

※商店の売り上げ ※市の所は国の交付税も含む

区画整理 H29年完成 永松(駅北側)に4差路出現 【対策】道なりにまっすぐ道に

区画整理は、来年度H29年度に工事、約15年を要して完了する。最後の工事として、武雄温泉駅北側の道路工事、うす色B・C部分も行われている。

一方、これまで、川良方面から駅の方に出る一本道Aが、完成後区画整理地区内の宅内道路と接続する為に急に、見通しの悪い4差路が出現し、多額の費用をかけ整備するも以前より、不便で危険な状況が出現する。将来的には、駅の南口この区画内主要道から、先の点線の都市計画道も計画するが、元々の目的は、駅の南北をつなぐ為だったので、今すぐ先の整備工事はしない。そうならば、私の提案として、現道Aと、C道路をメイン道路として、すりつけ、一旦停止ラインを付け、正面衝突を



山内西小体育館 「倉庫を改造し他小並の設備を」

市内の小中学校の体育館改築は現在工事中の山内西小をもつて、一応一巡し終了する。

ここについては私は、旧体育館の鉄骨を再利用することの事で、強度や耐用年数の事を心配していた。一方、旧鉄骨は利用するものの、他の小の体育館と同様の機能や広さは確保されるものと思込んでいた。

しかし、工事の様子を見ると、以前と同じ、高さも低く小さな体育館改築になっていった。社会体育利用の多い、バレーボールも一面しか取れないとの話。

また、近年の体育館は、三角屋根のコート部分と四角前に出た付体部分に、男女・障害者トイレ、更衣室、ミーティング室などが一体化し、利便性が良く、災害時の避難所としての機能もある。

今回の山内西小には、それが整備される計画が無く、びっくり。地元と話し合ったかを聞くと、

学校とは話ししたが、地区や育友会とは話合っていないらしい。そこで、今から、考えられる方策として、ちょうど西側に、大きな倉庫が隣接しているのを、そこを改造して、外にトイレ等に行かないで良くし、災害時にも対応できる様にすべしと思う。

そこで、一般質問で、西側倉庫の改造を提案するも、教育委員会は、今までどおり倉庫で利用するとの返答。議長からは、「現在工事中の件などとして、たしなめられたが、ひよつとしたり工事後に考えられた追加工事もある。競輪場改築で追加工事は、ぜひやって欲しい。」

